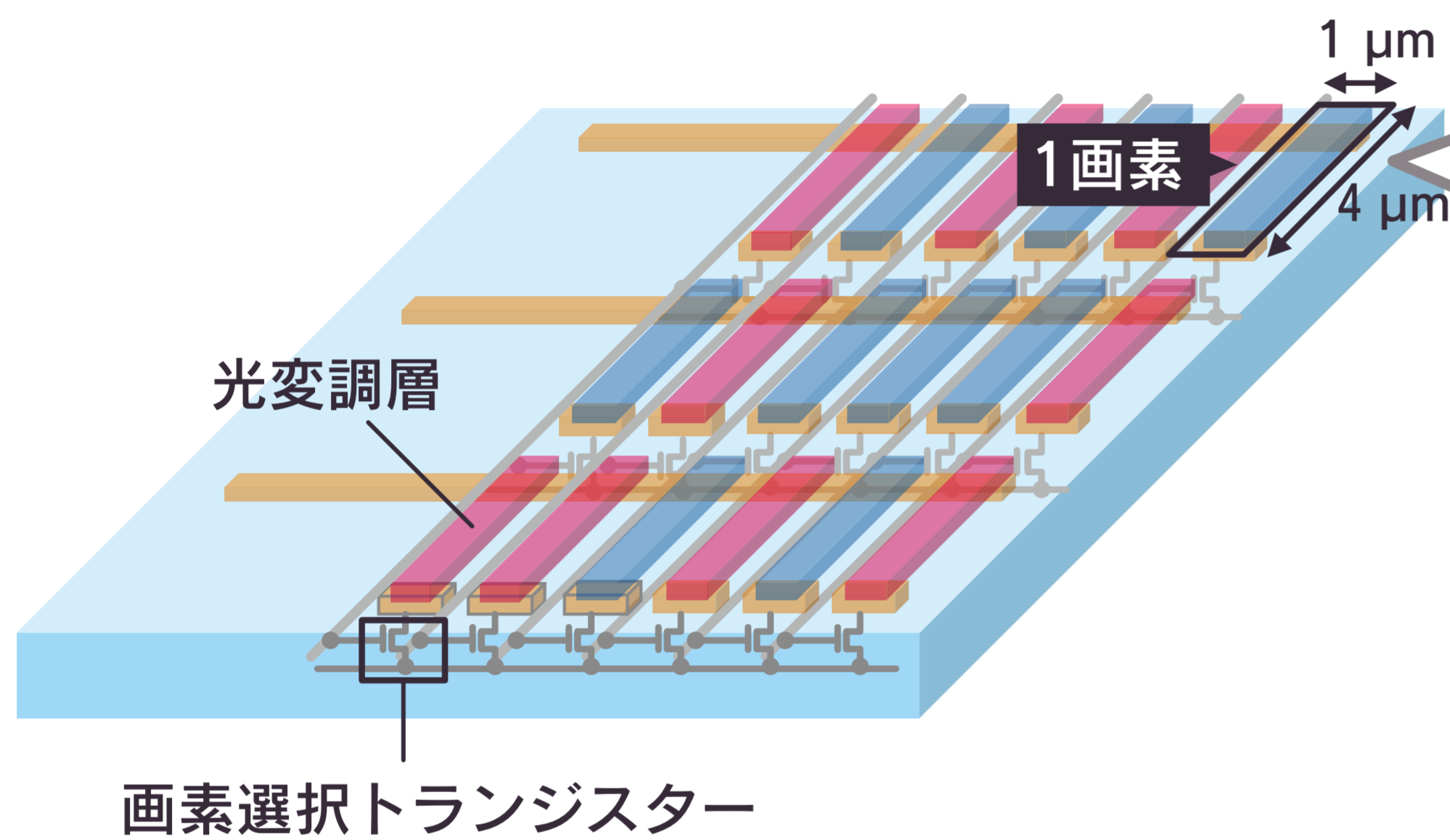


試作した高密度空間光変調器(SLM)の構造と動作原理



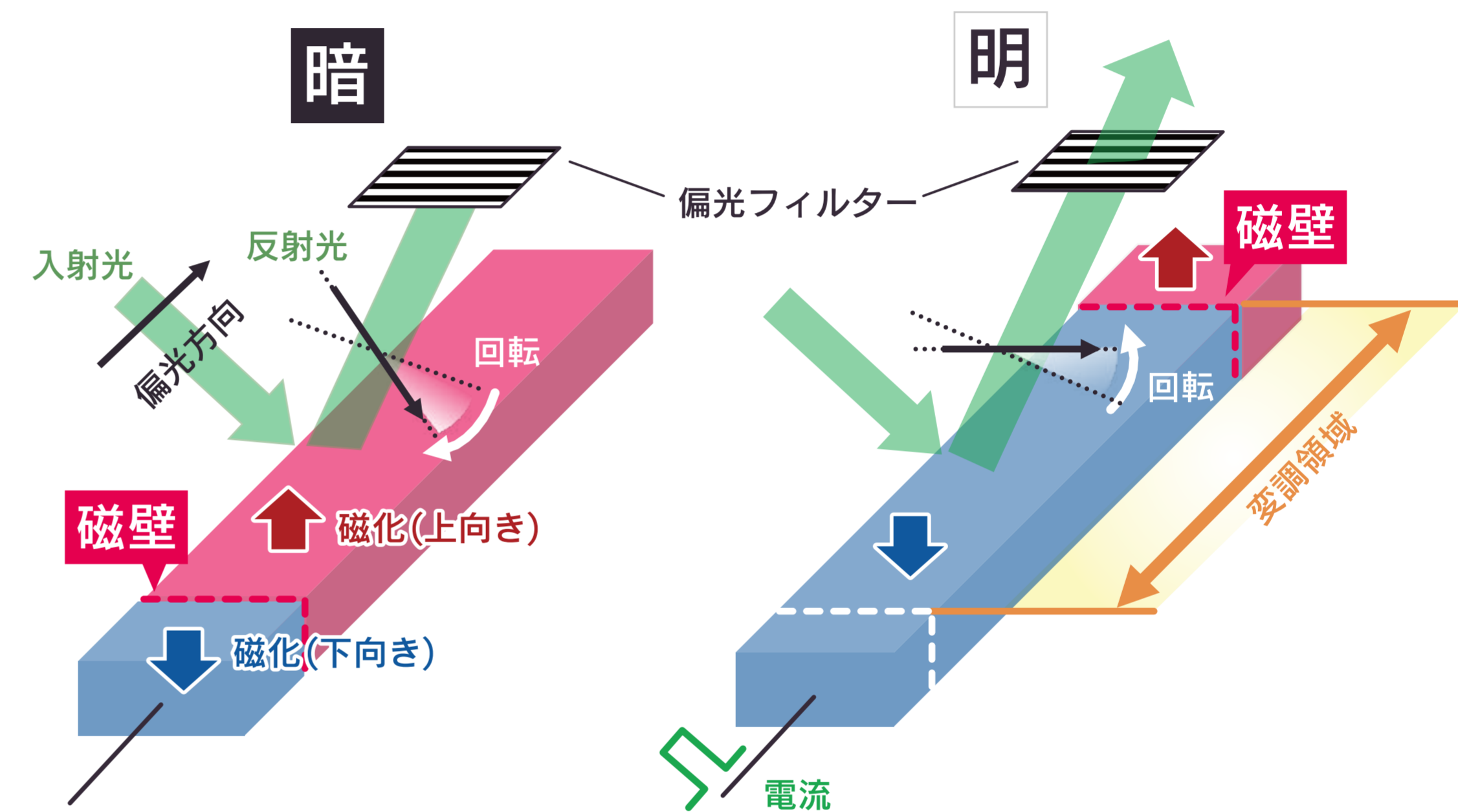
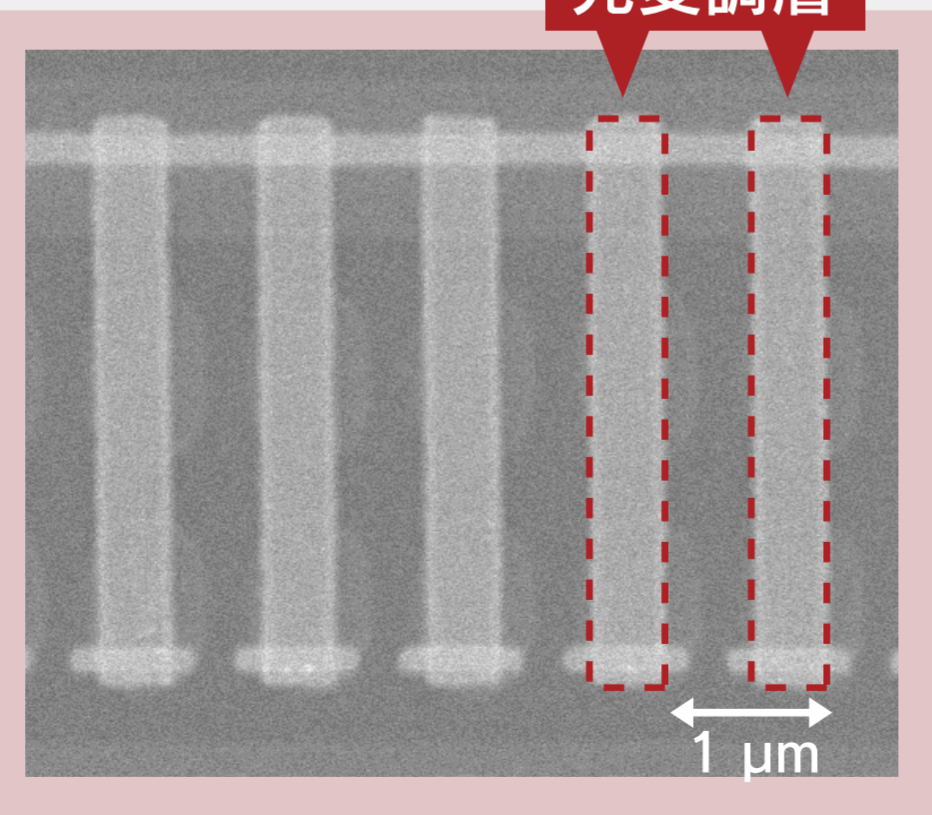
試作SLM(上面写真)

画素領域



電子顕微鏡像

光変調層



画素に電流を注入すると
電流の大きさによって磁化^{※1}方向(上向き/下向き)の
境界である磁壁の位置が移動

画素領域内で、
入射光が入射する場所の磁化方向に応じて
反射光の偏光^{※2}面が回転(磁気光学効果)

※1 磁化:磁石の強さとその向きを表すベクトル量。

※2 偏光:振動が特定方向に揃った光。